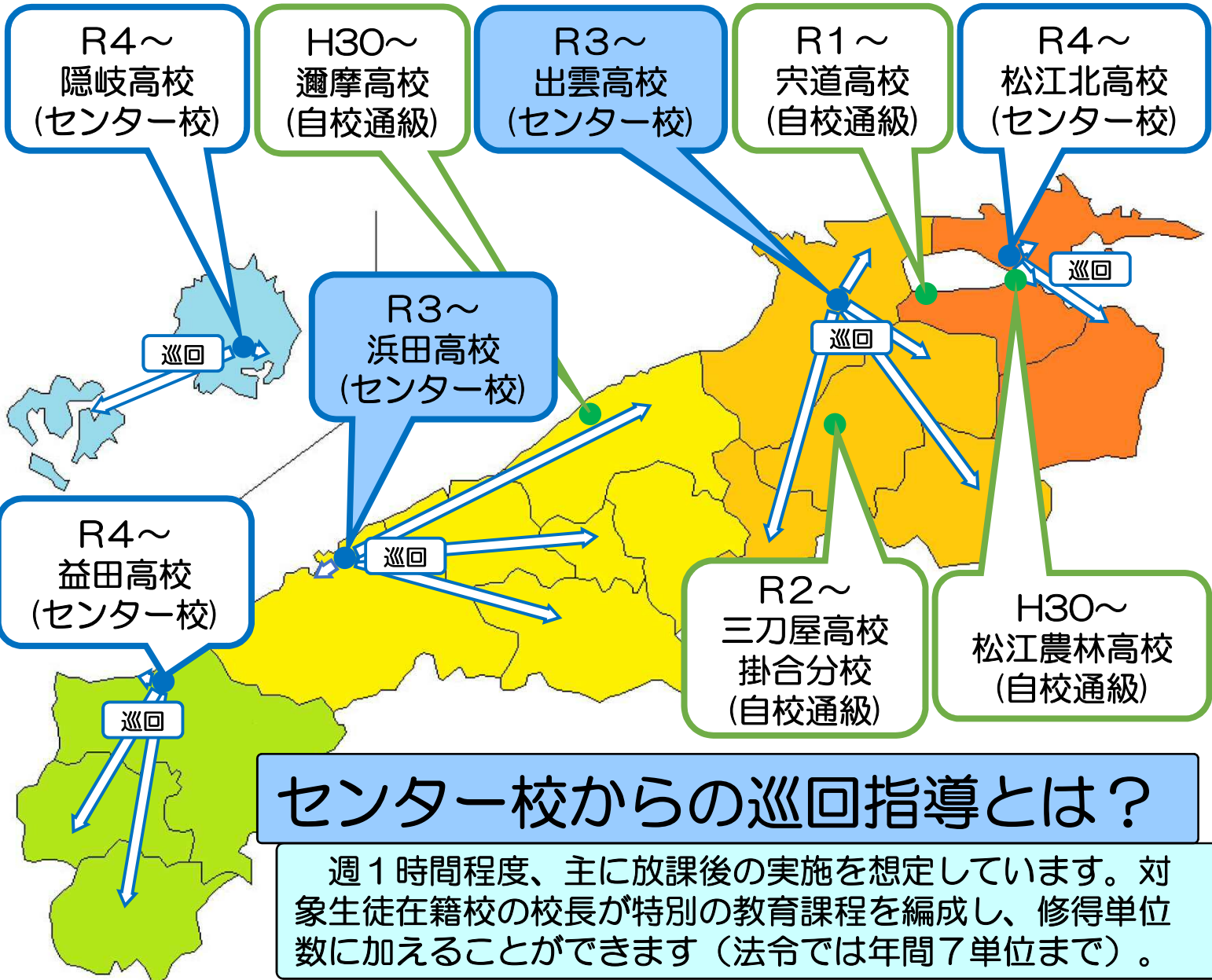


島根県の県立高校で「通級による指導」を拡充します！

拠点校方式により

拠点校方式とは？

県内の5つの圏域にインクルーシブ教育システム推進センター校（センター校）を配置します。そして、センター校から通級指導担当教員が巡回して「通級による指導」を行うことで、県内全ての県立高校^(注)で「通級による指導」が受けられる体制を整備していきます。
出雲圏域と浜田圏域から順次、この方式を導入していきます。



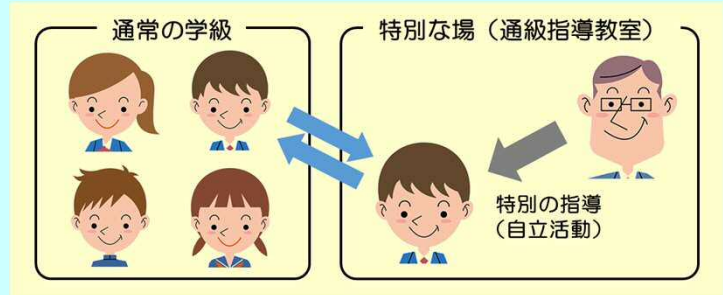
センター校からの巡回指導とは？

週1時間程度、主に放課後の実施を想定しています。対象生徒在籍校の校長が特別の教育課程を編成し、修得単位数に加えることができます（法令では年間7単位まで）。

※ 上記の他、ろう学校の教員が巡回して、難聴に係る通級による指導を実施している県立高校もあります。
(注) 通信制課程については、スクーリング等の機会をとらえて、可能な限り自立活動の視点をもって指導していきます。

「通級による指導」とは？

大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部、障がいに応じた特別の指導を特別な場（通級指導教室）で受ける指導形態で、障がいによる学習上又は生活上の困難を改善し、又は克服するため、特別支援学校学習指導要領の「自立活動」に相当する指導を行います。



「通級による指導」の対象となる生徒は？

拠点校方式での「通級による指導」の対象は、発達障がいのある生徒を想定しています。通常の学級の学習に概ね参加でき、一部特別な指導を必要とする生徒が対象です。なお、通級による指導の対象とするか否かの判断に当たっては、医学的な診断の有無のみにとらわれることのないよう留意し、本人、保護者、教員のニーズや意向、専門家の意見等、さまざまな立場から情報を収集し、より妥当な判断を検討していくことになります。

「通級による指導」の指導内容は？

小・中学校と同様に、学習面や生活面に関する内容が取り上げられるほか、卒業後の適応に関する課題が考えられます。

取組例として「障がい特性の理解と自己理解」「効果的なコミュニケーションスキル」「社会自立に必要な知識やスキル」の指導などがあります。

「通級による指導」で期待される効果は？

学校生活や社会生活をスムーズに送ることができるようになり、生徒本人の学習意欲や自己肯定感の向上につながることが期待されます。また、学校全体の特別支援教育に関する体制整備のより一層の推進とともに、教職員、保護者、周囲の生徒等の理解促進が期待されます。



問い合わせ先

島根県教育庁特別支援教育課

TEL 0852-22-6710 FAX 0852-22-6231